

ゴール 登場人物の心情の変化を読み取ろう。

一 読んだお話について、後の空らんをうめましょう。



◎読んだお話：

主人公：

はじまり

主人公の心情が表れている表現

心情の変化

主人公の心情の変化
【 から 】へ
心情の変化が表れている表現

おわり

主人公の心情が表れている表現

二 読んだお話を、主人公の気持ちの変化に注目して八十字程度でまとめてみよう。

Grid for writing the summary of the story.



ふりかえり

- ・主人公の心情の変化を読み取ることができた。
・変化を表す表現に気を付けながら読むことができた。
・書かれている内容を整理して書くことができた。

(心情を表す言葉をさがしましょう)
主人公のセリフに、気持ちの変化が記されていませんか？
場面や風景、登場人物などが変化していませんか？
主人公の気持ちの変化を対句等におきかえて表現していませんか？
※対句：反対の意味の語句、似た意味の語句、対照的な意味の語句を並べることによって、文章に味わいを持たせる表現技法です。
(例) 「高くそびえ立つ山 ひくくうずくまる大地」

ゴール 登場人物の心情の変化を読み取るう。

一 読んだお話について、後の空らんをうめましょう。



◎読んだお話：タイトルを書こう。主人公：主人公の名前を書こう。

はじまり

心情の変化

おわり

主人公の心情が表れている表現
* お話の中からそのまま書き出そう。
例 ぼくの心は、このどんよりとした空のようです。

主人公の心情の変化
【なやんでいる様子】から【前向きな気持ち】へ
心情の変化が表れている表現
例 いつの間にか晴れやかな空とあたたかい日ざしに
つつみこまれていた

主人公の心情が表れている表現
例 この晴れやかな空のように感じました。
例 春のあたたかな日ざしがまぶしいくらいでした。

二 読んだお話を、主人公の気持ちの変化に注目して八十字程度でまとめてみよう。

「一」をもとに主人公の気持ちの変化をまとめて書いてみよう。その時には、「わたしは、主人公の気持ちがお〇〇から××へ変わったと思います。なぜなら…」とその理由をしっかりと書いてみよう。

(心情を表す言葉をさがしましょう)
主人公のセリフに、気持ちの変化が記されていないませんか？
場面や風景、登場人物などが変化していませんか？
主人公の気持ちの変化を対句等におきかえて表現していませんか？
※対句：反対の意味の語句、似た意味の語句、対照的な意味の語句を並べることによって、文章に味わいを持たせる表現技法です。
(例)
「高くそびえ立つ山 ひくくうづくまる大地」
「高く」と「ひくく」、「そびえ立つ」と「うづくまる」、「山」と「大地」という言葉がそれぞれ対(つい)になっていて「高くそびえ立つ山」と「ひくくうづくまる大地」が対句(ついく)になっています。



ふりかえり

主人公の心情の変化を読み取ることができた。()
変化を表す表現に気を付けながら読むことができた。()
書かれている内容を整理して書くことができた。()